

令和5年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	36	学校名	静岡県立静岡東高等学校	記載者	宮田 治幸
------	----	-----	-------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	授業改善と確かな学力の向上	別紙（様式3令和5年度 学校経営報告書（自己評価））参照	B	A	教員同士の授業参観による教育の質向上が評価できる。共通テストの点数は授業での受験対策とのバランスが課題。生徒の自律を促す取り組みが望まれる。
イ	志の育成と進路目標への挑戦	別紙（様式3令和5年度 学校経営報告書（自己評価））参照	A	A	多様な学習機会での志の育成を支援している。SDGs など外部プログラムも良い。大学進学を目指す生徒への個別フォローを継続し、理想への挑戦を促したい。
ウ	自主自律の精神と豊かな人間性の育成	別紙（様式3令和5年度 学校経営報告書（自己評価））参照	B	B	読書活動で人間性を育成、図書カフェやビブリオバトルの取組も良い。遅刻者数データ分析、自己肯定感の向上等を促す学校行事の更なる充実を期待したい。
エ	心身の健康と命を守る教育の推進	別紙（様式3令和5年度 学校経営報告書（自己評価））参照	B	B	生徒の心身の健康と安全を重視し「相談室連絡会議」で情報共有している。長期欠席生徒が少ないことも良い。防災訓練参加率は保護者啓蒙の強化で改善を。
オ	積極的な広報活動	別紙（様式3令和5年度 学校経営報告書（自己評価））参照	A	A	土曜公開授業への参加者数は多く、SNS を活用した広報も効果的。積極的な広報姿勢が評価できる。公開授業の負担を踏まえつつ継続を図りたい。
カ	業務改善と働きやすい職場づくり	別紙（様式3令和5年度 学校経営報告書（自己評価））参照	A	B	デジタル機器の導入による業務効率化とペーパーレス会議の実施で改善を進めている。公開授業の負担を踏まえ現場の工夫が必要とされる。
キ	新校舎建築に関わる業務の遂行	別紙（様式3令和5年度 学校経営報告書（自己評価））参照	B	A	新校舎建築の計画は県とのコミュニケーションと適切なスケジュール管理がなされており、校内において、今後の課題についても把握している。
ク	オンリーワン・ハイスクールの成果の活用	別紙（様式3令和5年度 学校経営報告書（自己評価））参照	A	A	成果をリーフレットで分かりやすく発信。外部連携を重視し、NPOや地元大学とも連携して行っている。外部との連携を今後も積極的に推進したいところである。